

◆健康情報だより◆ Vol.21 ピンクリボンキャンペーン

ピンクリボンキャンペーンという言葉聞いたことありますか？

10月は乳がん月間です。ピンクリボン月間とも言われ、乳がんの「早期発見・早期治療」の大切さを伝える運動が行われています。

乳がんは、40歳以上の年代に多く、40歳から50歳代の女性のがん死亡原因のトップですが、早期発見・早期治療による10年後の生存率は90%以上（※1）です。

NCRけんぽでは女性の方に乳がん検診（※2）の補助金を7,000円まで支給しております。

健康診断を受診する時は乳がん検診をオプションで追加して受診しましょう。

┌ NCRけんぽの取組み～Working RIBBON 参加宣言～

女性にターゲットを絞った予防・早期発見のガン対策としてとりわけ「乳がん・子宮頸がんの2つの女性がん」の啓発に取り組み、受診率80%を目標に被保険者や家族の健康を守る宣言をしています。

[https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/workingribbon/pdf/WorkingRIBBON\\_challenge\\_For\\_employees.pdf](https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/workingribbon/pdf/WorkingRIBBON_challenge_For_employees.pdf)

検診は健康な時にこそ、行って下さい！

┌ NCRけんぽの健診で受けられるがん検診

NCRけんぽでは国が推奨している5つのがんの検診を実施（補助金含む）しています。対象となる年齢と性別は以下の通りです。

<無料>・・・NCRけんぽの健診に含まれています

肺がん（胸部X線）・・・全員

胃がん（胃部検査（※3）バリウム）・・・35歳以上

大腸がん（便潜血2日法）・・・35歳以上

<補助金支給>・・・オプションで選択

子宮頸がん（細胞診・内診）・・・女性全員

乳がん（マンモグラフィー又は超音波）・・・女性全員

┌ がんの死亡率を下げる検診

がんによる死亡を防ぐためには、がんにならないようにすることが重要です。

がんは遺伝するといわれていますが、実は、遺伝によるがんは5%程度と少なく、

むしろ、喫煙、食生活及び運動等の生活習慣が原因である方が多く、これらに気をつけて発がんリスクを下げる必要があります。しかし、発がんリスクを下げるため生活習慣の改善に心がけたとしても、がんに罹るリスクはゼロにすることはできません。そこで重要となるのが、定期的ながん検診です。

└ がん検診の結果で要精密検査となった場合

---

がん検診を行って、“要精密”の判定があった場合は速やかに健康診断結果を持って医療機関を受診してください。

要精密となってもがんの確定というわけではありません。不安な気持ちになりますが、放置することで手遅れになりかねません。

検診で早期発見された人は治癒率も高くなります。

自覚症状が出てからではなく早期発見、早期治療が大切です。

└ がん検診、がんについての情報

---

がん検診やがんについては正しい情報を知ることがとても大切です。

以下のサイトは、信頼できる情報となります。参考にしてください。

●がん情報サービス「国立がん研究センターがん情報サービス」

<https://ganjoho.jp/public/index.html>

●東京都 #女子けんこう部

女性の乳がん、子宮頸がん、大腸がんについての情報

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/joshi-kenkobu/>

※1 出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2023」

※2 乳がん検診はマンモグラフィまたは乳房超音波（エコー）のいずれか一方のみが補助の対象です。

※3 胃部検査はバリウム以外に内視鏡に変更できます。その際は一部自己負担が発生する場合があります。

参考文献：がん対策推進企業アクションホームページ

---

■発行：日本NCR健康保険組合 HP <http://www.ncrkenpo.or.jp>

■住所：〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2

■発行日：2024年10月1日

■お問い合わせ

・Mail [HIA.JP@ncrkenpo.or.jp](mailto:HIA.JP@ncrkenpo.or.jp) ・Tel 03-5244-9800 ・Fax 03-5244-9383.

---